

発掘調査で判明した八天遺跡の歴史

時代		年代	遺跡の性格		特徴的な遺構		特徴的な遺物	写真等	
縄文時代	早期 末葉	約7,000年前	狩場？				表裏縄文土器	①	
	前期	約6,000年前	狩場	*十和田火山灰降下	落とし穴		横位S字撚糸文土器	② *2	
	中期								
	末葉	約4,500年前	集落	*集落（住居跡多い）	竪穴住居跡 （複式炉）	盛土遺構	大量の土器・石器	*1	
	初頭	約4,400年前							
	前葉	約4,200年前	（転換）	*台地上の各所で大型柱穴による建物跡を造営	掘立柱建物跡				
	中葉	約4,000年前	祭祀空間 （墓地）	*大形円形建物跡を継続的に建替墓域形成	大形円形建物跡 配石遺構				
	後葉	約3,600年前					耳鼻口形土製品 焼けた人骨		
	晩期	約3,200年前							
弥生時代									
古墳時代									
奈良時代									
平安時代		9世紀後半	集落	*集落（住居跡多い）	竪穴住居跡		土師器 須恵器 鉄製品	*2	
鎌倉時代									
室町時代									
安土・桃山時代		16世紀	城館	*遺構遺物少ない 臨時的な砦か？	土塁・堀		陶磁器片	③④	
江戸時代		18世紀		*台地上南西端に墓地			寛永通宝	*2	

*1 「国指定史跡八天遺跡」（パンフレット）をご覧ください。
 *2 「八天遺跡第12次調査の概要」（現地説明会資料）をご覧ください。



①表裏縄文土器（左が表、右が裏）



②横位S字撚糸文土器 ③陶磁器片（輸入青磁）



④城館の土塁と堀（令和6年調査）

八天遺跡の竪穴住居跡（縄文中期末葉～後期初頭・平安時代） 城館の堀（安土桃山時代） 配置図

